

採択拠点の拠点形成概要・採択理由

【分野名：革新的な学術分野】

機 関 名	大阪大学
拠点のプログラム名称	細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成
中核となる専攻等名	医学系研究科未来医療開発専攻
事業推進担当者	(リーダー) 仲野徹 教授 外12名
<p>(拠点形成概要)</p> <p>高齢化社会において増加する臓器不全に対して、移植医療に代わる革新的治療法の開発が待たれており、再生医学がその最右翼に位置づけられている。その国際的競争に伍していくには、細胞・組織の操作といった基礎医学、移植や器官再建を中心とした臨床医学のみならず、バイオマテリアルやバイオリアクターの開発、細胞・組織の品質管理といった工学系の技術を含めた、多彩な分野の最先端技術を集中させた拠点を形成することが不可欠である。本研究教育拠点では、医学系、工学、基礎工学研究科が擁する優れた人材の集結、セルエンジニアリングの技術開発とハイブリッド器官・マイクロ人工臓器の構築およびその臨床応用、多領域の基礎研究と臨床医学の有機的統合、を基盤に、原理的な基礎研究から実際の臨床応用までを直結させた、未来医療のための革新的モデルを展開する。また、これらの領域をリードする学際的な能力を身につけた人材の育成を図り、研究・教育・臨床いずれにおいても世界最高水準を誇る総合拠点を形成する。</p>	
<p>(採択理由)</p> <p><コメント></p> <p>幹細胞学、バイオマテリアル学、レーザー工学を統合し、治験を視野に入れたヒト人工組織・臓器の構築を目的とする革新的な拠点形成計画である。拠点リーダーをはじめ事業推進担当者の研究業績は世界水準にあり、拠点形成のために十分な基盤を与えるものと判断する。</p>	
<p><革新的な学術分野であるポイント></p> <p>幹細胞学、バイオマテリアル学、レーザー工学を統合した医工連携による新たな再生医療の構築を目指している点で、革新的な学術分野の開拓が期待できる拠点形成計画である。</p>	